

2026年度(総合型選抜)AO選抜入学試験
薬学部「UNITE Program[®]課題探究型方式」

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
薬学科	17	11	5
創薬科学科	1	1	1
計	18	12	6

(2) 本入学試験の目的

次のような者を積極的に評価し、受け入れることを目的としている。

1. 自然科学の各分野に関心を持ち、当該分野の諸課題を追求・解決しようという意欲を持つ者
2. 入学後、薬学部での学びの上に、自然科学各分野における興味・関心をさらに発展させようという意欲を持つ者

2. 試験内容

(1) 第1次選考

エントリーシートと調査書

(2) 第2次選考

小論文と面接による総合的評価

3. 出題の意図

(1) 第1次選考

基礎学力を確認し、学習意欲、志望動機、および将来の展望について明確に記述されているかを評価する。

(2) 第2次選考

小論文については、探究課題への取り組み、論理的思考能力、および論述能力を評価する。面接においては、探究課題への取り組み姿勢、能動的学習能力、小論文課題の理解力およびコミュニケーション能力を評価する。

4. 評価のポイント

(1) 第1次選考

エントリーシートと調査書より、理科の基礎学力および能動的学習意欲を確認し、志望動機および将来の展望について明確に記述されているかについて総合的に評価した。

(2) 第2次選考

探究課題は「神経変性疾患について」であり、本課題に対する取り組み姿勢を評価した。その課題に関する具体的な各設問については、的確かつ論理的に解答されているかを評価した。これらについて正解を求めているわけではない。
薬学科の選考では、先端的な医療に関心を持ち、高度専門職業人としての薬剤師あるいは薬学研究者となることを強く志望しているか、という点を確認した。創薬科学科の選考では、医薬品創

製および関連分野において基礎研究および臨床開発に携わり、グローバルに活躍することを強く志望しているか、という点について確認した。

5. 解答状況

(1) 第1次選考

志望学科に沿った志望動機および将来の展望について明確に記述されておらず、理科の基礎学力および能動的学習意欲が不十分であると判断した志願者は、不合格とした。

(2) 第2次選考

小論文は、探究課題についての設問に対して、論理的に記述されているかを問うものであったが、各設問に対する解答ではなく各自で調べてきたことを単に綴っただけのものが多かった。また面接では、小論文を基に各自の探究課題について質問し、探究学習つまり能動的学習による理解力をはかった。結果、不十分だと判断せざるを得ない受験者も一定数いた。志望動機、入学後の展望、将来の展望、コミュニケーション能力については概ね良かった。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

AO選抜では、自ら課題を見つけ自ら学ぶ意欲を持つ学生を求めています。第1次選考では、志望動機および将来の展望が明確に記載されているか否かに重点をおいて評価します。第2次選考では、能動的な学習姿勢の有無について評価します。具体的には、課題探究テーマにしっかり取り組んでいるか、またその小論文の問いに対する解答として論理的に記述されているか否か等々を評価します（正解を求めている訳ではありません）。面接では小論文の記述内容に関する理解力を問い、探究学習が身についているかどうかと、入学後の展望等を総合的に評価します。薬学は、物理、化学、生物学の総合的学問ですので、合格者は入学前に理科・数学の基礎学力を身に付けておく必要があります。

以上